

令和7年度 第4回 旭地域会議 会議録

■日 時 令和7年7月3日（木） 午後7時00分～午後8時40分

■場 所 旭支所2階 第1会議室

■出席者

＜委員13名＞

板倉小夜子（会長）、稲垣雅子（副会長）、安藤孝之、伊藤和夫、伊藤圭一、大塚昌義
鈴木雄也、富永英明、鳥居信宏、成瀬初恵、増田尚子、柳井清一郎、渡邊さとみ

＜事務局＞

杉本憲彦（支所長）、児嶋勇吾（副支所長）、岡本拓也（担当長）、山本悟（主査）
平井一輝（主事）

＜傍聴人1名＞

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）「里山」に関する課題・取組案等について

4 連絡事項

5 支所長あいさつ

6 閉会

【内容】（要約）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

押井の里山見学の写真をみながら事務局が説明

見学した委員の感想

（１）「里山」に関する課題・取組案等について

〈主な意見〉

【問題（地域の困りごと）】

- ・やれそうでやれることが少ない。
- ・（地主のいる山林は）どこから手をつけたらいいかわからない。
- ・（家の周りの）木を切ってもらいたい人はたくさんいる。
- ・里山を守っていかなければという若者が少ない（⇒年齢層が高い）。
- ・地域によってはあまり困ってない。困るという実感がない。

【課題（問題を解決するために必要なこと）】

- ・旭の木材を使ってリフォームした家を見学してもらおう←間伐材を資源として利用する。
- ・（危険木伐採などの）補助制度があっても知らない人もいるため周知が必要。
⇒申請の方法がもっと簡単になるといい。
- ・そこに住む人が里山に興味を持つ、問題意識を持つ。
- ・森林の活用の仕方を考える（木材、炭、肥料、森林浴など）。
- ・取組を支援する仕組み（人、場所、インフラ、受入れ先など）を整える。

【事業（地域と行政が共働で行う取組み）】

- ・木育：小さい頃から森に触れ、環境について考えていく⇒人と森林が共存していく方法を考える。
- ・（地域と行政が合意のもと）森林を健全にする（＝天然林化）。
- ・人と動物との棲み分け（＝境界を作る）。

4 連絡事項

令和6年度わくわく事業実績報告書の説明 他

5 支所長あいさつ

6 閉会

— 午後8時40分 令和7年度 第4回 旭地域会議終了 —以上